



◆ 学校に Wi-Fi (ワイファイ) 環境を整備しました

Wi-Fi は、パソコンやタブレットなどの端末を、ケーブルではなく無線の電波によってネットワークに接続する技術のことです。笠間市で導入する 1 人 1 台端末 (iPad と Chromebook) は、Wi-Fi に対応しており、Wi-Fi でインターネットに接続します。そのため、学校に Wi-Fi が使える環境を整備しました。令和 3 年度中には、1 人 1 台端末を持ち帰って家庭学習を行うようになります。その時には、家庭でも Wi-Fi が使える環境が必要になります。

◆ 自宅に Wi-Fi 環境をつくるには？

自宅に Wi-Fi 環境をつくるには、Wi-Fi ルーターという機器が必要です。主に 3 つの方法があります。

① モバイル Wi-Fi ルーター

モバイル Wi-Fi ルーターとは、持ち運び可能な Wi-Fi ルーターです。自宅でも外出先でも場所を問わずインターネットに接続可能な Wi-Fi 環境を作れます。

② 据え置き型 Wi-Fi ルーター

据え置き型 Wi-Fi ルーターは、自宅に設置する Wi-Fi ルーターです。コンセントを挿せばすぐに Wi-Fi 環境が整い、インターネットへ接続することができます。工事をする必要がなく手軽です。

③ 光回線と Wi-Fi ルーター

光回線は、自宅に直接光ファイバーを引き込んでインターネットに接続する方法です。有線接続ですから高速で大容量ですし、安定しています。ただし、開通工事が必要となります。また、引き込んだだけでは有線接続しかできません。光回線を Wi-Fi で利用したいならば、通常、Wi-Fi ルーターを設置しなければなりません。図中の ONU とは、光信号とデジタル信号を相互変換する装置で、光回線でインターネットを利用するには欠かせない存在です。Wi-Fi ルーター機能の付いた ONU もあり、その場合、Wi-Fi ルーターは必要ありません。



光回線とWi-FiルーターによるWi-Fi環境

◆ スマートフォンのテザリングは、家庭学習に不向き

スマートフォンを Wi-Fi ルーター代わりに使う方法もあります。テザリングと呼ばれる方法です。テザリングは通信業者や契約の仕方、有料の場合があるので確認しておきましょう。また、テザリングはバッテリーや通信量の消費が大きいので、使用している最中にスマートフォンの充電が切れたり、通信制限されたりしてしまう可能性があります。家庭学習で使うには、十分ではありません。

※ 次号では、3 つの方法のメリット・デメリットを特集します。